

心のモヤモヤを「スッキリ」解決!

看護職場のストレス
マネジメント相談室

第7回 新人の性格が好きになれず、指導することが苦痛

今月の相談

27歳、整形外科勤務で看護師歴5年目になります。プリセプターになり3カ月が経ちましたが、新人看護師2人の個性が強く、接し方に困っています。新人の1人は何かを伝えると「はい」と聞いてくれますが、言ったとおりにやってくれなかったり、結局何もやっていなかったりして、何を考えているかわかりません。

もう1人は、勉強熱心ですが自己主張が激しく、看護ケアのやり方を教えても自分流のやり方で進めようとしたり、「学校で習ったことと違う」と反発してきます。病棟には病棟のやり方がありますし、違うやり方でやると患者さんやほかのスタッフが困ることもなります。

2人にはそれぞれ異なる個性がありますが、どちらにも共通しているのは、言ったとおりにやってくれないところで、そのような2人にどう指導したらいいのかわかりません。また、2人を指導することで私自身が疲弊してしまい、プリセプターを終えるまでの期間を乗り切れないのではという不安もあります。



Answer

新人の性格をあれこれ言うよりも、
まずは自分の指導方法を柔軟に!

プリセプターとして日が浅いのにも関わらず、クセの強い新人の指導を任されてしまった、指導したのに、やらなかったり違うことをされたりして困っている、ということですね。有無を言わず上からガツンと指導できるようなタイプですと、このようなことでは悩みにくいものです。おそらくあなたの指導は、やさ

しく丁寧なのでしょう。単に新人と先輩という関係ではなく、プリセプターを任されたら最低でも1年は密にかかわらなければなりません。その逃げ場のなさが、あなたの悩みをより一層重く大きいもののように感じさせてしまっているようですね。

Profile

ベスクリニック 臨床心理士 関本文博

専門は認知行動療法など。チーム医療の中心として、医療現場での臨床心理士の働きを一新している。

保健師・看護師・助産師 長田梨那

生活習慣とメンタルヘルスの密接なつながりに着目。睡眠を中心とした指導を実践し、医療に頼らない心と身体の健康プログラムを提案。

Consultation & Answer

プリセプターとして
成長するチャンスと捉える

新人の性格によって指導がしやすい、しにくいということは、確かにあると思います。従順に言ったことを的確にやってくれるほうが、指導する側も手応えを感じられます。あるいは、叱責したとしても、その落ち込みを引きずらず気持ちを新たに次の業務に臨んでくれると、指導する側も余計な罪悪感を感じずに指導に取り組めるでしょう。

ただ、性格の相性は人とかかわる際の「オプション」に過ぎません。「オプションが付かないと指導ができない」というのは、本末転倒ではないでしょうか。自分に合った性格の人なら伸ばせて、合わない性格の人だと伸ばせないというのは、プリセプターとして成長する機会を逃してしまっているようにも思えます。もしかしたら、新人のことを好きになれないというよりは、自分が思っているとおりに新人が動いてくれないことで、上司や同僚から自分の指導力のなさを責められたり、自分の評価が下がることに対して不安や焦りがあるのではないのでしょうか。

新人に合った指導方法は一人ひとり異なります。びしっと言われて初めて指導を聞く人もいれば、意見を聞いたり認められたりして成長していく人もいます。逆に、指導する側も、有無を言わず指導を押し付ける人もいれば、あなたのようにやさしく丁寧な指導をする人もいます。人間関係におけるさまざまな要因が絡み合っているなかで、自分の指導をどこまで新人に合わせて柔軟にカスタマイズできるか、あなたのプリセプターとしての力量が今

まさに試されているといえるでしょう。

伝え方、教え方に考えを巡らせ
自分なりの指導方法を探ろう

1人目の新人は、言ったとおりにそのまま動いてくれないという問題がありますね。組織にとっては重大な問題です。ただ、その背景には何か理由があるのではないのでしょうか。「行動する・しない」という背景には、合理的な理由があるかがポイントになります。多少遠回りしてでも、その行動に結びつく理由の聞き取りをする場を設けてみてはいかがでしょうか。

2人目の新人は、指導に反発することを自己表現だと思っているかもしれませんので、まずは行動してもらい、その結果をもとに話をしてはどうでしょうか。その行動の結果から、うまくいかなかった場合はほかにどんな方法があるか、うまくいった場合は「そんなやり方もあるね」とほめることも大切でしょう。正しい医療サービスの形は1つとは限りません。

「どんな場でどんな伝え方なら、相手は納得して聞いてくれるだろうか」「相手は何に喜び、何に手ごたえを感じるか」などに考えを巡らせるのも、指導をする際の重要なポイントです。いろいろな性格の人がいるからこそ、看護の現場はおもしろいのです。初めてのプリセプターは大変なことも多いかもしれませんが、新人と一緒にあなたらしい指導法を身に付けていきましょう。